

落合 康友

大河の会

児童生徒へのマスク着用の方針の見直し

【質】 発達途上にある児童生徒が長時間マスクを着用することで様々な弊害が起こり得る。特にこれからの時期は熱中症のリスクが高まり、大阪府の小学校では生徒の死亡事故も発生。方針を見直すべきでは。

【答】 各学校に対して熱中症の対応を優先するよう指示しており、体育の授業時、暑さで息苦しさを感じた場合は教師がマスクを外すよう指示している。今後、手洗い等基本的な感染症対策を継続して奨励していくが、マスク着用については、児童生徒の実態や状況に応じて柔軟に対応し、安全・安心確保のため、今後も各学校に指導していく。

児童生徒へのワクチン集団接種

【質】 新型コロナウイルスによる10代以下の死亡者・重症化の累計者数は依然ゼロ。中長期的な安全性が全く明らかになっていないことから接種の必要性はそもそも考えられない。集団接種についての市の見解は。

【答】 市では、学校単位で一律に実施することは考えていない。接種は強制ではなく、本人と保護者の同意が必要であり、接種の効果や、起こり得る副反応のリスクを十分理解いただいた上で、接種の可否を判断いただきたい。併せて、接種しないことによる差別助長や偏見を生み出すことがないように、市民の冷静な行動、対応を求めていく。

その他の質問事項

- 中国木材進出による地元木材会社への影響
- 無秩序な大規模伐採への懸念
- 能代港における洋上風力基礎工事の騒音

安岡 明雄

改革ネットワーク（市民の声、シロウス、日本共産党）

認知症高齢者と家族を支える体制の整備

【質】 認知症の方が日常生活、社会生活を不安なく送れることや、家族の不安解消を含め、地域、行政が支えることを目的とした認知症に対する条例の制定に向けた取組はできないか。

【答】 認知症の相談があった場合は、医療機関や、認知症初期集中支援チームへの紹介、介護申請や介護サービスへつなげている。現在、国で審議が続いている認知症基本法案の中で、市町村に対しては、認知症施策推進計画の策定を努力義務として位置づける予定となっており、条例の制定については、国の状況を見ながら必要性も含めて検討していく。

災害時の避難行動をどうサポートするか

【質】 自力で避難が困難な人と支援者とのマッチングや音声で避難を促すサービスが開発された。スムーズな避難行動に繋げるため、ICT活用や、防災ハザードマップを分かりやすくする取組が必要では。

【答】 市では、WEB版防災ハザードマップを導入し、浸水想定区域や指定避難所等の場所を確認することを行っているが、スマートフォンの位置情報を利用しての避難所等への経路表示や混雑状況を表示する等の機能は備えていない。情報通信技術を活用することで、よりきめ細やかな情報提供ができるものと考えているため今後も調査研究を重ねていく。

その他の質問事項

- 住民の利便性につなげる自治体DXの取組
- 木都能代を再興するための積極的な支援を
- 交通事故から子供たちをどう守るか

菊地 時子

改革ネットワーク（市民の声、シロウス、日本共産党）

市職員のメンタルヘルス

【質】 職員にかかるストレスが増大し療養を余儀なくされる職員も少なくない。ケアの実施方向にストレスの気づきと対処があげられるが、職場環境改善とストレス要因の軽減のための取組は。

【答】 職員がメンタルヘルスの不調を感じた際は、産業医等との面談のほか、時間外勤務の多い職員の業務の見直しや職場内の応援体制の構築を行っている。また、係長級職員へ研修を実施しているほか、不調となった場合、職場復帰支援を行っている。今後、メンタルヘルスケアの実施、不調を起こさない体制づくりに取り組み、職員のストレス軽減に努める。

学校給食費の無償化を検討する考えは

【質】 食育の一環として位置づけられる給食は子供たちの教材でもある。義務教育は無償の考えに立って、また、地域の宝である子供を地域で育てるという観点に立って無償化の検討に取り組んでは。

【答】 市では、学校給食法に基づき食料費のみを保護者から負担いただいております。令和2年度は、約1億5800万円となっております。このうち、就学援助により、約26%の児童生徒の保護者には給食費の全額を助成しているが、市財政が厳しい中で、全ての児童生徒の無償化は困難と考えています。

その他の質問事項

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 地球温暖化対策